

餅つけば 子供喜ぶ 笑顔かな God 肩すぼめ コートの襟に シミの痕 野風 老いの身に 讚美歌の歌 しみわたり 岡本太郎



喪中ハガキ

11月28日一通のハガキが届きました。喪中につき年末年始のご挨拶はご遠慮申し上げまうと書いてありました。このハガキを送ってくれた女性は昔ひと花センターが開設された後に女子大生のインターンとしてひと花センターに来ておられた女性です。今は結婚して子供も一人います。その後どうなったのかハガキで再会しました。昔話をかたがひいしました。そして毎年お祝状をやりとりするようになりました。たまたま2回お会いしたことがあり私の事忘れずお母様が亡くなった事知らせて下さいました。このひと花センターを創出して下さったおかげで10年という長い月日にわがかわる絆が続いています。ついでに娘のお母様の冥福を祈り申し上げます。



とくじい



右：11月の「散歩の会」は 鶴見緑地公園 に行きました。
 左上：「美術の時間（シャツを作ろう）」での作品たち。
 左下：「花園公園草刈り」この時期、山ほどの落ち葉集め。

ひと花新聞

第 110 号

令和 4 年 12 月 5 日
 発行・認定 NPO 法人釜ヶ崎支援機構
 ひと花センター
 〒557-0002
 大阪市西成区太子1-13-15
 電話・06-6649-7890

商人の 一声高く 師走かな 一平 サンタさん 古里の家 見て来てよ 岡本太郎

ひと花に、助けられたが、我が命
 実数を確証し出し早四年何一つ連絡もせず
 生きて居たがひと花センターの
 月々の予定表見て一日の目的が出来た
 一日誰とも話さず一人で過ごす時ほど良き
 昭和の時代を思い出し部屋に居たが
 何時の日か茶臼山に登りに入りベンチに
 座り同年代の人と語り合って自分
 死に生きて甲斐を求めたり涙歌を聞いたり
 夢を語って居るが中々進まない精神が
 空を飛ぶ人はずいぶん進み酒を求めたり
 何時までも生きて来ただけこの花に
 頼り水もめで、只生きて来ただけこの花に
 生きる力を貰ったこの花と登壇



餅つきを 母親とした 思い出が ゴルゴ



ひと花映画館
 あの名作に逢える…
 毎週 日曜、木曜
 13時から

登録者以外も大歓迎、マスク着用をお願いします

※ ひと花センターは、西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業として、平成25年からスタートしています。

おでん酒 カラオケ歌い 箸踊る なべさん

私のよもやま話
 確か、中学1年生だったと思います。当時の、娯楽番組に11PMが有り夜中、親に隠れてテレビを、見ていました。確か藤本義一と安藤孝子のコンビで、徳島県の、剣山(つるぎさん)に、長さ10メートル位の、大蛇が居て、牛の子を、一飲みにした。豚を、食われたとかで、大蛇、探検隊に藤本義一を、隊長に、大型バス2台に50人位で、ロケをしていました。話を聞くと、目は赤く、うろこは松の木の様で長さは、優に10Mを超えるわしゃ、命からがら逃げて来た。3日ほど、寝込んでしまった。二度と山には行かん。この話を聞いて、全国から、人が、押し寄せて地元の旅館や民宿は、超満員で、予約も取れない。中学生だった私は、本当かな〜って、思い叔父に聞くと、四国八十八ヶ所の霊場の中で、一番、お参りが、少ないから、町、興しの為に、地元のお坊さんが吐いたホラ話らしい。余りに話が、大きくなり、引っ込みが、吐かなくなり夜逃げしたらしい。今でも、大滝神社には探検隊の、記念写真が、有るらしいです。四国で、二番目に、高く2000M位有り、今では、山頂まで、ケーブルも着き、多くの、登山者で、賑わっているそうです。今、考えると、お坊さんも、ビックリしたんだろうな〜と、思います。最近では、話題に成らないけど、雪男。バチ蛇。宇宙人。昭和の時代にロマンが、在った様な気がします。 桐井でした。

今年残り1ヶ月程に近づいて来た。季節は巡りてくると言うけれど自然界に生きた動物達や老人にとりては寒い冬の戦いが始まる。関西地方、街はイルミネーションで飾りつけられて、テレビでは連日冬仕度やら正月の準備の様子が放送されて盛り上げて来ているが世界ではロシアがウクライナに進攻して以来1ヶ月程過ぎて世界中でインフレが加速して物価は上昇。一方で日本では原油や天然ガスなどの食料品を含め輸入品が値上りして家計を直撃。一方でコロナの一向に納まる気配もなくオミクロンの変異をくり返して令和4年も終ろうとしてきた。来年はどんな年になるやら? 物価高 貧民街に寒波来る

(一平)



「ひと花句会」に関西テレビの取材が来ましたよ。

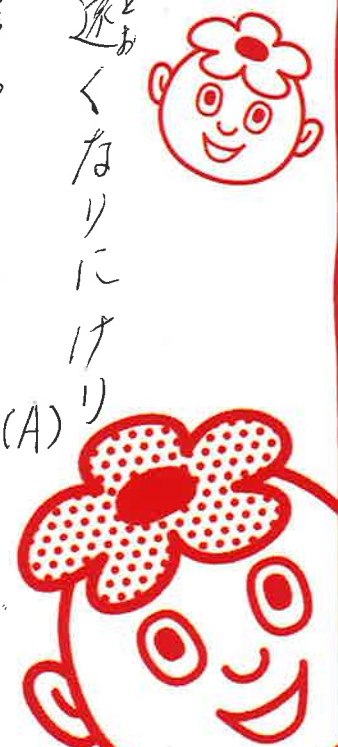


208
 竹村志
 ほこり体標
 りっも 漱石し
 また今度も 果てず
 イノシシさん
 映画加藤佳樹陵



昭和は遠くなりけり (A)

昭和26年創立の東映は、5年後の昭和31年興業収入トップに躍り出た。創立に関わった片岡千恵蔵と市川右太衛門の両輪がフル稼働してその礎を築き、興業担当重役のマキノ光男が次世代のスターとして歌舞伎界から中村錦之助、大川橋蔵、歌謡界から美空ひばり、一般人から高倉健と専属契約を締結。その地位を不動のものとした。創立当時は資金が潤沢でなく千恵蔵、右太衛門のギャラは半分以上の手形だった事もあった。この世界にもあるように、撮影所内が千恵蔵派と右太衛門派に分かれ、そこから生まれて来た。正月3日封切のオイルスター映画では、2人をメインに若手スターが勢揃いし、映画館は活況を呈した。今では若手は元気があつた。映画館の通路に新聞紙を敷き、熱心に見ての状況だった。熱い気



クリスマス サンタはこない 大人はね

光宙

物価高

貧民街に 寒波来る

一平

クリスマス ダンボール小屋 星を見て 岡本太郎 年の暮 戦争している バカな国 God 老友も 逝きて寂しき 除夜の鐘 一平 幼子と 日向ぼとける 幸せや 今鹿